

# 自由民権資料館 「絵図でみる町田 - Part 3 -」

2014年度第2回企画展  
【日 時】10月11日(土) ~ 11月30日(日) 午前9時~午後4時30分  
【休館日】毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌日) **入館無料**



自由民権資料館では、2010・2012年の「絵図でみる町田 - Part 1・2 -」に引き続き、第3弾を開催します。今回は、忠生地区・堺地区にスポットをあてます。具体的には、木曾・根岸・函師・上小山田・下小山田・山崎・小山・相原です。今回も2012年度に町田市指定有形文化財に登録された絵図「南多摩郡各町村縮図」(1886年・明治19年作成)を中心に、江戸時代から現代に至る町田市域の移りかわりを絵図・地図・写真や関連史料とともにふりかえります。



▲木曾村・根岸村  
合併縮図



▲相原村

## 関連イベント

- 記念講演会**  
11月9日(日) 午後2時~午後4時  
(演題)「神奈川県地租改正事業と地引絵図」  
(講師)奥田晴樹氏(立正大学文学部教授)
- まちだを歩く - 忠生地区・堺地区編 -**  
10月26日(日)、11月16日(日)、  
11月23日(祝・日)の3回を予定  
(詳細は『広報まちだ』10月1日号に掲載予定)
- ギャラリートーク**  
毎週土曜日 午後2時~(1時間程度)

問い合わせ 自由民権資料館 ☎734・4508

## 町田市民文学館ことばらんど 2014年度秋の展覧会

芥川賞作家

美術家

# 尾辻克彦 × 赤瀬川原平 — 文学と美術の多面体 — 展

1984(昭和59)年に市内に居を移して以来、現在に至るまでの約30年間を町田で暮らす芥川賞作家・尾辻克彦こと、美術家・赤瀬川原平(1937年~)。この間に発表された代表的な仕事には、カメラを片手に路上観察をしながら発見した〈超芸術トマソン〉〈路上観察学会〉や、あるいはベストセラーとなった著書「新解さんの謎」、流行語大賞を受賞した「老人力」などがあります。

本展は、作家・尾辻克彦/美術家・赤瀬川原平の〈ものの見方・考え方〉を小説やエッセイ、美術作品を通して追体験することにより、この希代の創造者のユニークな発想の一端を解き明かそうと試みるものです。

- **会 期** ■ 10月18日(土) ~ 12月21日(日)
- **会 場** ■ 町田市民文学館ことばらんど 2階展示室
- **開館時間** ■ 午前10時~午後5時(毎週金曜日は午後8時まで)
- **休 館 日** ■ 毎週月曜日・毎月第2木曜日(ただし11/3、11/24は開館)
- **入 場 料** ■ 一般:400円 65歳以上・大学生:200円 ※高校生以下無料(ただし10/18、10/26、11/3、12/21は入場料無料)

▶赤瀬川原平  
「天日本零円札」



問い合わせ

町田市民文学館 ☎739・3420

※展覧会会期中、関連イベントを多数開催します。

詳細は町田市ホームページ(文化・スポーツ > 文化芸術情報 > 文化施設 > 町田市民文学館 ことばらんど)をご覧ください。

これは村境と共有地の利用方法をめぐって発生した争論に関する絵図です。江戸時代、共有地は入会地と呼ばれていました。ここは落ち葉などの自給肥料、牛馬の飼料、薪や炭といった燃料の供給地として、人々の生活に欠くことができない重要な場所でした。慶安4(1651)年10月、小山村から大沢・鏝水両村に対して訴えが出され、三か村による問題解決のための話し合いが行われます。しかし、それぞれが権利を主張しあって解決せず、32年後の天和3年(1683)ようやく三か村が同意します。通常、境界争いの場合、関係する村の代表者が幕府からの裁許状(判決文)に署名押印することにも、



▲天和3年小山村・大沢村・鏝水村野論裁許絵図

## 連載

### 町田市歴史の1コマ

## 天和3(1683)年5月

## 小山村・大沢村・鏝水村野論裁許絵図

境界を具体的に確認するため絵図を作成しました。こうした絵図は重要な証拠書類として大切に保管されました。

## 連載

### 遺跡が語る土地の記憶

## 相原坂下遺跡(相原町)



▲相原坂下遺跡の調査地



▲発掘調査中の相原坂下遺跡

相原坂下遺跡は現在の町田街道、相原三叉路から相原交差点の道路改良工事に伴い、1978~1979年に調査が実施されました。それまでの町田街道は国道16号と変則的な交差をしていました。調査の結果、旧石器時代・縄文時代・古墳時代の集落跡が発掘されました。縄文時代では中期主体の住居跡が10軒以上確認されています。また、中期勝坂式期の優れた装飾の土器が出土しています。古墳時代の後期では17軒もの住居跡が確認されています。

坂式期の優れた装飾の土器が出土しています。古墳時代の後期では17軒もの住居跡が確認されています。